

## 留学報告書 8.9 月

3 年 平野倫

### 留学準備

6 月中旬に韓国での前期が終わって、6 月の後半から 8 月 27 日まで日本にいました。8 月の中旬にカカオで韓国の大学の職員の方と連絡を取り、授業、寮費の支払い、渡韓の日付を決めました。授業は中級韓国語中級を 3 つ、韓国の学生と同様に聞く授業を 3 つとることにしました。また、前回韓国人の友達に荷物を預けていた関係で前期より少ない荷物で渡韓することができました。

### 渡韓当日～入寮

8 月 28 日に渡韓をして、その日に大学の方にピックアップしてもらい寮に向かう予定でしたが荷物を預かってもらっていたフン君から渡韓 1 週間前に仁川で行われるビール祭りに行こうと誘われたため、フン君の実家で 2 泊してから寮まで行くことにしました。当日、仁川空港まで向かいにきてくれて、翌日フン君の友達たちと共に祭りに行きました。その次の日に、フン君とお別れをして、寮まで電車とタクシーで向かいました。フン君は 9 月 1 日から兵役に行く様で韓国と日本の文化の違いをリアルに感じました。

## 授業、日常生活

9月1日から授業が始まったのですが、2回目ということもあり不安なことはあまりなく授業を受けられています。前期にできた友達にも久しぶりに再開できて、一緒にお酒を飲みに行ったり、ランニングをしたり、寮の休憩室で話したり楽しく過ごせています。事前に寮のルームメイトを前期と同じ人にしてくださいと頼んでいて、希望通りになるかは保証できませんと伝えられていたのですが、前期と同じ人たちでとても安心しました。日本から持ってきたお菓子を喜んでくれました。前期と変わっていたところは、部屋の中がリホームされて綺麗になっていました。また、床暖も新しくなっていました。それ以外の寮のルールや門限はそのままでした。

## 友人

前期では学期の終盤に友達がたくさんできましたが、今回は早い段階で友達を作ろうと思い、積極的に話しかけるように意識しています。その結果、マーケティングの授業で、2つ上のお兄さんと友達になり、お昼を一緒に食べに行ったり、図書館で一緒に課題をしたり、筋トレをしたりするようになりました。そのかたは日本にとっても興味があるようで、「札幌の旅行が最高だったよ。」と教えてくれました。10月からは、一緒にサッカーのサークルに入ろう

と誘ってくれました。

## EMC・バディープログラム

前期に引き続き、EMC とバディープログラムの申請を行いました。EMC では、前期と同じメンバーが来てくれて楽しく日本語、韓国語を教え合っています。バディープログラムでは韓国人 2 人、日本人 2 人の 4 人で活動するのですが韓国の方は 2 人とも前期で知り合った方で、スムーズに連絡を取ることができました。今の所、ご飯を食べに行ったり、映画を見に行ったり 2 回カルどうしました。2 人ともとても親切で優しく接してくれます。

## まとめ

最後の留学となった後期も早いもので 1 ヶ月が過ぎました。毎日が刺激的で、楽しく活動できています。また、自分から話したり、誘ったりすることも増え後悔のない留学生活が送れていると思います。この調子で色々なことにチャレンジしていきたいです。



